

## 石川県の日本語・日本文化研修プログラムと 欧州からの誘客の取り組みについて

クレアパリ事務所では、最近支援を行った石川県による欧州からの誘客の取り組みについて、同県から寄稿をいただきました。他の自治体における参考となるよう、ご紹介させていただきます。

2011年3月に発生した東日本大震災以降、回復が遅れている欧州からの誘客促進を図るため、かつて石川県内で日本語・日本文化研修を受講した方々など、本県ゆかりで本県の観光PRに協力的な方々16名を対象として、2012年5月26日、欧州では初となる石川県観光親善大使に任命しました。

アムステルダム市内のホテルで開催した「いしかわ観光のつどい」には、英国、フランス、ドイツ、スイス、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクの欧州各地から参集した11名に対し、谷本正憲石川県知事が直接委嘱状を交付しました。

谷本石川県知事は石川県の観光の魅力を紹介し、「皆さんとは運命共同体。石川への送客に力の限りを尽くしてほしい」と期待を込めました。観光親善大使を代表してベルギー在住のアレサンドロ・ペルナさんが「石川の素晴らしさ、石川県民の優しさを欧州中に伝えるために頑張ります」と決意表明を行いました。また、その後、観光親善大使やその家族らを交えて行った交流会には、財団法人自治体国際化協会パリ事務所の鳴田謙二所長が来賓として参加し乾杯の音頭を取るなど、和やかな雰囲気になりました。

石川県観光親善大使には、県内観光地の写真を掲載した絵葉書やDVD、親善大使としての名刺を配布するとともに、今後、県からメール等により旬の観光情報を随時提供することで、大使一人ひとりの活動の場を通じて本県の観光情報を口コミ等の手法により発信してもらうほか、毎年1回、活動報告会を実施する予定としています。

県としては、県内宿泊客数としては台湾に次いで多い重要な地域である欧州からの誘客促進を図るため、フランス・ミシュラングリーンガイドでも3つ星の評価を得るとともに、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」において、2011年4月から2012年3月までの1年間の「欧州からの旅行者に人気の日

本の観光スポット」の1位に選ばれた兼六園や、2011年に先進国では初めて世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」等を核として、誘客促進の取り組みを一層強化していくこととしています。



欧州初の石川県観光親善大使に任命された16名のうち  
アムステルダムでの交付式に参加した11名の皆さん

さて、石川県観光親善大使の多くは、かつて石川県内において日本語や日本文化の研修経験を持っていますが、その中心的なプログラムがIJSP（Ishikawa Japanese Study Program、石川県日本語・日本文化研修プログラム）で、世界20か国以上の約50大学等から3,600名を超える研修生を受け入れてきた石川県独自のプログラムです

(参考) IJSP ホームページ (英語)

<http://www.ifie.or.jp/english/j-education/ijsp/index.html>

研修参加者は、各自のレベルに応じた日本語研修を受講し、藩政時代から受け継がれてきた多彩な伝統工芸を中心とした日本文化を体験できることに加え、石川県内の一般家庭にホームステイするという、まさに教室の中と外をつなぐ研修プログラムであり、高い評価を得ており、最多の20回の参加を続ける米国の名門プリンストン大学をはじめ、イタリアのミラノ大学、オーストラリアのモナシュ大学や韓国外国語大学では単位認定もされています。

I J S P が大学を中心とした学生グループを研修の対象としているのに対し、社会人を含めた個人を対象としているのが、スイスのジュネーブに本拠を持つ教育財団ユーロセンター金沢校が行う日本語・日本文化講座です。日本で唯一、1989年から石川県において実施されている同講座はI J S Pの良きパートナーであり、これまで65か国から2,600名を超える研修生を受け入れています。



米国から I J S P に参加したプリンストン大学やハーバード大学の学生（金沢市の兼六園）

2012年5月、パリ市のアクリマシオン公園で開催された日本イベントに石川県が観光ブースを出展した際、クレアパリ事務所から紹介して頂いたイナルコ大学及びディドロ（パリ第7）大学に対し、このI J S Pを紹介する機会を得ることが出来ました。

いずれの大学でも、日本について学ぶ学生が多く、「学生が学期休み等に自己研さんする1つの手段として、ホームステイをしながら日本語・日本文化を学ぶことができるI J S Pは、日本詰めになることから日本語の上達も速いと思われ大変興味深い」といったコメントを頂き、今後、学生の派遣に向けて連絡を密にさせて頂くこととなりました。

(参考) パリ市アクリマシオン公園イベント開催報告 (クレアパリ事務所 HP)

<http://www.clairparis.org/ja/news/2012/228-le-jardin-japonais-.html>

IJSPは1987年のスタートから今年ちょうど25周年を迎えます。石川県では、これを契機とし、クレアの木村陽子理事長や米国プリンストン大学の牧野成一教授など、国の内外の日本語・日本文化研修の関係者等を召集した公開会議「IJSP未来創造会議」を2012年7月6日に金沢市内のホテルで開催しました。会議では、広くIJSPの課題・方向性を検討し、IJSPの欧州を含めた世界に向けたプレゼンスの強化を図り、3年後に迫った北陸新幹線の金沢開業を見据えた、さらなる交流人口の拡大や国際交流の推進につなげる議論ができました。

石川県観光交流局国際交流課  
交流協力グループリーダー 中山隆志

